

松前町

議会だより

No.109

2021年5月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

3月定例会



★完成まで10年 総工費13億円

・令和3年度 一般会計当初予算 114億円始動

**「義農大賞」「合併浄化槽設置補助金」など
質疑・討論の応酬**

・防災・減災 雨水対策は
・一般質問 6人が町政を問う
・南黒田工業団地の今後は

松前町
議会中継
[録画]



3月
定例会

一般会計 114億円 始動

あらまし

3月定例会は、3月1日から17日までの17日間の会期で開催。
★初日に専決処分1件を承認し、意見を求めるもの1件に同意した。
また、条例12件、補正及び当初予算11件、議決を求めるもの1件が提出された。関係する議案を所管の常任委員会に付託した。
★2日目に令和2年度補正予算について審査した。
★3日目に一般質問を行い、6人の議員が町政を質した。
★4日～7日目に総務産業建設、文教厚生、予算決算の各常任委員会にて付託案件を審査した。

★8日目に予算決算常任委員会で継続審査になった議案について審査した。
★最終日に各委員会の報告を受け、一部討論を経て、すべて原案通り可決した。
・追加議案として教育長任命の人事案件に同意し、補正予算案件1件についても、原案通り可決した。
・委員会提出議案2件を提出し、原案通り可決した。
(詳細については、各ページで)

出納局の設置など効率的で機能的な業務執行体制で、
新年度の行政運営が始まる。

内閣府の月例経済報告

では、「景気は新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる」とされている。

一方では感染拡大の防止策を講じる中で、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があるとしている。

また、国及び地方の長期債務残高が1200兆円(令和2年度末見込み)に達するなど自由度を失い硬直化が進む財政状況の中では、経済や国

民生活に極めて大きな影響を及ぼしている。

こうした状況下で地方公共団体が住民の要請に応えてその役割を適切に果たしていくためには、新たな着眼や柔軟な発想による徹底した行政改革に取り組み、財源の充実確保を図っていく必要がある。

歳入

主要をなす税収が、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、固定資産税の評価替えによる減額などにより町税全体では前年度と比較して1億6400万円程度の減額となっている。

歳出

後期高齢者医療や障がい福祉に係る給付費の増大のほか、新型コロナウイルススワクチン接種に係る経費により、前年度と比較して3億円余りの増額となっている。

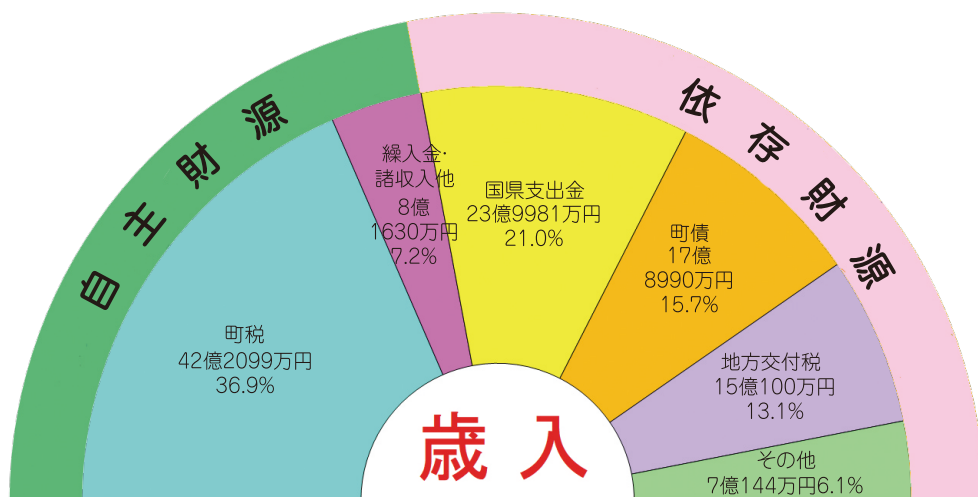
令和3年度 当初予算の総額

区 分	予算額	増減率(%)
一般会計	114億2945万円	2.7
特別会計	66億5852万円	0.9
国民健康保険特別会計	33億5156万円	△0.5
後期高齢者医療特別会計	4億8009万円	2.0
介護保険特別会計	28億2686万円	2.4
保険事業勘定	28億1520万円	2.4
サービス事業勘定	1166万円	6.5
合 計	180億8798万円	2.0

令和3年度 事業会計予算

	収益的支出	資本的支出
水道事業会計	5億1257万円	4億6920万円
下水道事業会計	4億8093万円	5億5556万円

※表中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

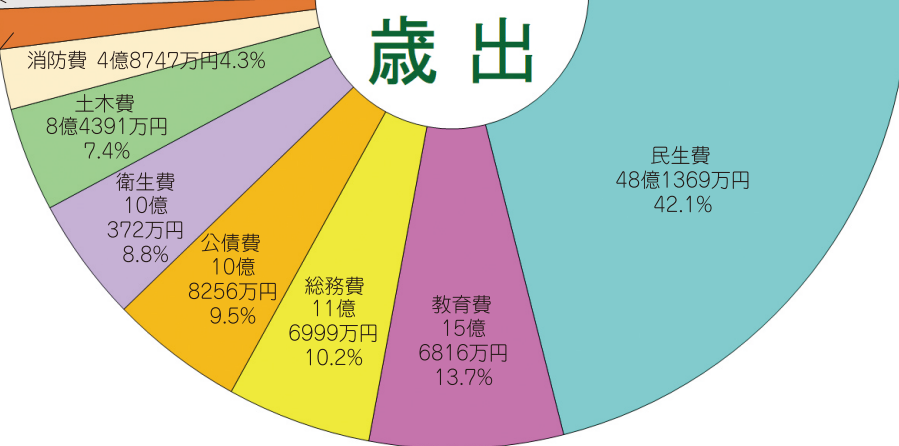


一般会計114億2945万円

その他
2394万円
0.2%

議会費
1億
1243万円
1.0%

農林水産・
商工費
3億
2355万円
2.8%



※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

◎ 議会は地方債と基金の動きも注視している

● 令和3年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債 (借入金) 在高	126億1576万円	見込額
	41万3753円	町民一人当たり
基金 (貯金) 在高	17億43万円	見込額
	5万5768円	町民一人当たり

★そのため…

令和3年度においては、前年度に増して既存の経常的経費について更に創意工夫による節減に努めるとともに、選択と集中により限られた財源を真

に必要な事業に重点配分されている。

このような厳しい財政状況ではあるが、新たな行政課題や社会経済情勢への確に対応するため、「第5次松前町総合計画」

に掲げられている各種施策に着実に取り組み、

「生きる喜びあふれるまち まさき」を目指す岡本町政を今後も注視。

議会が特に注目した予算として

- ・ 「義農大賞」の創設で、令和3年度から4年度にわたる2か年の事業予算
- ・ 「合併浄化槽の補助金」を今年度からは新築物件には出さないと

予算決算常任委員会で修正案が出されるなど議論となる。

『どう変わる 令和3年 まさきの暮らし』

～一般会計当初予算の目玉事業から～



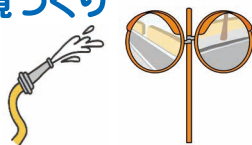
第5次松前町総合計画の5つの基本施策

(特に、各常任委員会で審査があったものを中心に)

◎は新規事業

① 安全・安心な生活環境づくり

- ・消防団設備の充実化
- ・カーブミラー点検
- ・防災行政無線関係の委託



③ 豊かな心を育む人づくり

- ◎GIGAスクール
(情報通信ネットワーク化)
- ◎松前町国体記念ホッケー公園
施設整備
(新たに観客席を設置)
- ・松前中学校(北校舎)改築工事



② 笑顔で暮らせる健康づくり

- ◎白鶴保育所の改築工事の設計費
- ◎産後ケア
(産後4か月未満の母親及び乳児が対象で、家族等から十分な支援を受けられない方を対象に支援体制を整える)
- ◎養育支援訪問
(保健師等による養育指導助言、家事援助)
- ◎骨髄等移植ドナー支援
- ◎若年がん患者在宅療養支援
- ◎新型コロナウイルスワクチン接種



- ・松前小学校放課後児童クラブ新築工事
- ・健康づくりプロジェクト
(健康づくりフォーラムの開催など)



★「義農大賞」ピックアップ★

- 目 的
1. 町の偉人である義農作兵衛の顕彰
 2. 松前町の全国的知名度を向上

- 内 容
- ・義農精神を体現している活動を行う個人、団体の功績を表彰する制度を創設
 - ・その功績を表彰するイベントを開催

【令和3年度】

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 義農大賞創設 | 550万円 |
| (1) 地域功労賞 | |
| ・町内公募(庁内審査委員会による審査) | |
| ・授与物品: 表彰状 | |
| (2) 義農大賞 | |
| ・全国公募(特設サイトの構築、WEB募集) | |
| ・外部審査(3名程度) | |
| ・授与物品: 賞金100万円、副賞(表彰楯) | |

- | | |
|---------------|-------|
| 2. 大賞受賞功績の映像化 | 200万円 |
| 計 | 750万円 |

【令和4年度】

- | | |
|----------------|-----------|
| ・受賞イベント(4月23日) | 750万円 |
| 2か年にわたる事業予算 | 合計 1500万円 |

④ 活力あふれるにぎわいづくり

- ◎「義農大賞」創設
(義農精神を全国に発信)
- ◎南黒田工業団地整備
(工場の移転に関するアンケート調査実施)
- ・「夏祭り」「たわわ祭」「はんぎり競漕」
(観光・交流機能を高め、町のPR)

⑤ 快適で暮らしやすい基盤づくり

- ◎塩屋地区雨水対策
- ・上下水道の整備
(浄化槽設置: 単独槽又はくみ取り式から合併浄化槽へ設置替えする時の補助金)



最終日の討論より



★令和3年度当初予算

①義農大賞 ②浄化槽設置整備補助金 について討論

1
反対



曾我部

「義農大賞」は、義農作兵衛さんに対する冒瀆である。

作兵衛さんは、「身を犠牲にして何百人の村人の命を救うことができたなら、私の本望。」と言いい、麦種を一粒も食わず、死去された。これが義農精神と言われるものである。

「義農大賞」でやろうとしていることは、町民から集めた税金を、困っていない委託業者、受賞者や表彰式イベント関係者に渡すことである。

作兵衛さんがこのことを知ると、「そんなことをしてまで、私の名前を広めることはない。そんなお金があるのなら、町民のために使ってほしい。」と涙ながらに訴えるのではないか。

人の名前を使用した事業をするのであれば、その人の生き方を尊重すべきで、決して汚すようなことをしてはならない。

賛成



岡井

新型コロナウイルスの感染の収束が進まない中、ワクチン接種も含まれている予算案は、他に子育て、大雨に対する防災、雨水対策など町民の暮らしに直結する内容となっている。

義農大賞は、義農精神を全国に普及するいい機会である。松前町を、北海道の松前とは違うことを知ってもらおう知名度アップのためにいい事業だ。予算案が原案通り早期成立するように望む。

2
反対



伊賀上

合併処理浄化槽設置の補助金が、新築の場合は令和2年度で終了になり新年度からは出ないと聞いた。

2月発行の広報まさきにその件がすでに掲載されていた。議会には、知らされず公表するとは議

会軽視と言わざるを得ない。地域の区長さんたちにも知らされていない。

今まで下水道事業には120億円からの資金が投入され、今後10年間で30億円が予定されている。町内の下水道の延伸は松前地区だけで、岡田や北伊予地区には予定されていない。その間の平等性を担保するための合併処理浄化槽への補助金だった。県から補助が出ないとか、国の方針などを理由に変更するのなら、1年ぐらいの猶予が必要だ。

町長の英断をもって義農大賞を1年後に、補助金はそのままお願いしたく、この予算案には反対する。

賛成



渡部

令和3年度から「浄化槽設置補助金」の対象を単独浄化槽又はくみ取り便槽からの転換設置に限ることになる。近隣の松山市も補助を行っていない。国も単独浄化槽及び

賛成



藤岡

★総務産業建設常任委員会では「連携中核都市圏形成」連携協約の一部を変更する議案について、原案賛成の立場で討論

くみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換に予算を重点化している。新築の場合は合併処理浄化槽の設置が義務化されており、対象から外すことはやむを得ない。

当初予算案には、町民の生命と健康被害にかかわるワクチン接種、産後ケアや養育支援訪問、松前小学校放課後児童クラブの建設など、子育て支援の充実、福祉の向上や安全な暮らしを守るための予算が計上されている。

義農大賞は義農精神を後世に引き継ぐために効果的で発信力のある取組である。住民生活に支障をきたさないよう速やかに可決を。

注釈

・新築に対する「浄化槽設置補助金」は、伊予市、砥部町など近隣市町で継続しているところもある。

・修正案可決でも4月から予算は執行できる。

関連記事は11ページに

3月定例会に提出された議案は、以下のとおりです。

可決

議案番号	議 案 内 容
1	新型コロナウイルスワクチン接種を行う経費が早急に必要となったため、令和2年度一般会計予算への補正(6回目)として1312万3千円が増額されました。
2	効率的かつ機能的な業務執行体制となるよう出納局を新たに設置するなどの組織を変更するため、条例を一部改正しました。
3	一般職の職員との均衡を考慮して会計年度任用職員の期末手当の支給率を引き下げ、一般職の職員の給与支給日に合わせるため、条例を一部改正しました。
4	「子ども」の定義に、修学又は病院等への入院、入所若しくは入居のため他の市町村の区域内に住所を有する子どもで国民健康保険以外のものを含めるため、子ども医療費助成に関する条例を一部改正しました。
5	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律により、新型コロナウイルス感染症の定義が改められたため、関係する条例を一部改正しました。
6	令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者に課する介護保険料の保険料率を定めるため、条例を一部改正しました。なお、第2段階における令和2年度からの増加額(率)が、他の階層に比べ急激な増加となるため、保険料率の段階的な引き上げを行います。
7	地域密着型サービス(認知症高齢者や中重度の要介護高齢者等が、できる限り住み慣れた地域で生活が継続できるようにするサービス)に関する条例を一部改正しました。
8	地域密着型介護予防サービス(高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、住み慣れた地域を離れずに生活を続けられるようにするサービス)に関する条例を一部改正しました。
9	居宅介護支援(在宅の要介護者が居宅サービス等を適切に利用できるよう、心身の状況、置かれた環境、本人や家族の希望等を勘案し、居宅サービス計画を作成するとともにサービス事業者等と連絡調整を行ったり、施設への紹介をしたりするサービス)に関する条例を一部改正しました。
10	介護予防支援(在宅の要支援者が介護予防サービス等を適切に利用できるよう、心身の状況、置かれている環境、本人や家族の希望等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、サービス事業者等との連絡調整を行うこと)に関する条例を一部改正しました。
11	新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動に支障が生じている中小企業者への融資について、町が行う利子補給の財源に充てることを目的とした基金を設置するため、新たに条例を制定しました。
12	自動運行装置を備えた自動車の自動的な運行を補助する施設(自動運行補助施設)が道路附属物として規定されました。また、歩行者が安心・快適に通行・滞留できる空間を定める歩行者利便増進道路制度が創設されたため、条例を一部改正しました。
13	自動運行補助施設の占用料の額を定めるため、条例を一部改正しました。
14	松山市・伊予市・東温市・久万高原町・砥部町・松前町で「まつやま圏域」を形成しています。松山市と松前町との連携協約を一部変更し、締結することになりました。
15	人権擁護委員に、田中 安男氏(大溝)が再任されました。(同意)
16	令和2年度松前町一般会計予算への補正(7回目)として5461万9千円が減額されました。

17	令和2年度松前町国民健康保険特別会計予算への補正(5回目)は、国民健康保険税の減収、同額が国庫補助金の増収となり、歳入歳出とも合計額の増減はありません。
18	主に居宅介護サービス等給付費、施設介護サービス給付費により、令和2年度松前町介護保険特別会計への補正として3121万円が増額されました。
19	消費税及び地方消費税により、令和2年度松前町水道事業会計予算への補正として1035万1千円が増額されました。
20	令和3年度松前町一般会計予算として114億2945万9千円(前年度比2.7%増)が計上されました。第5次松前町総合計画に掲げられている各種施策に着実に取り組みます。特に、松前町の偉人義農作兵衛とその精神を全国に発信するため、義農精神を体現している活動の功績を表彰する「義農大賞」を創設し、令和4年4月のイベント開催を目指して準備を進めます。
21	令和3年度松前町国民健康保険特別会計予算として33億5156万2千円(前年度比0.5%減)が計上されました。
22	令和3年度松前町後期高齢者医療特別会計予算として4億8009万3千円(前年度比2%増)が計上されました。
23	令和3年度松前町介護保険特別会計予算として、保険事業28億1520万2千円(前年度比2.4%増)、介護サービス事業1166万6千円(前年度比6.5%増)が計上されました。
24	令和3年度松前町水道事業会計予算として、収益的支出5億1257万3千円、資本的支出4億6920万4千円が計上されました。
25	令和3年度松前町下水道事業会計予算として、収益的支出4億8093万1千円、資本的支出5億5556万4千円が計上されました。
26	新型コロナウイルスワクチン接種会場設営等を委託するため、令和3年度松前町一般会計予算への補正(1回目)として5197万円が増額されました。
27	松前町教育委員会教育長に、足立 一志氏(上高柳)が任命されました。(同意)
28	新型コロナウイルスワクチン接種記録システム改修を委託するため、令和2年度松前町一般会計予算への補正(8回目)として100万円が増額されました。
委員会提出 議案1	議員活動と家庭生活との両立支援、男女の議員が活動しやすい環境整備のため、松前町議会会議規則を一部改正しました。
委員会提出 議案2	松前町の組織の変更に伴い、松前町議会委員会条例を一部改正しました。

※議案番号14・20以外は、全員一致で可決

賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議員名 議案番号	西村	渡部	曾我部	影岡	田中	住田	稲田	加藤	藤岡	村井	岡井	伊賀上
14	○	○	○	○	○	○	○	—	○	●	○	○
20	●	○	●	○	○	●	○	—	○	○	○	●

※議長は採決に加わらない

予算決算



影岡委員長

令和3年度 当初予算

◎総務部所管

問 以前から防災行政無線が聞こえにくいという声を聞く。設備の改良や増設の予算は。

稲田

答 難聴対策用の予算を毎年計上し対応している。要望のあった所を調査し、改善工事を行っている。

問 災害時の備蓄品購入費1041万円の財源は。

岡井

答 大規模地震災害対策基金の3億円から取り崩して備蓄品を購入する。

問 県防災関係システム等負担金が大幅に減額となった要因は。

田中

答 令和2年度内に高度化システムの整備が完了するため。

防災対策等、町の安全・安心を強化する事業など、暮らしに関わる予算を審査

問 庁舎管理委託料は、昨年対比684万円減額だが、事業総額では747万円増額となっている。内訳は。

田中

答 予算はほぼ同額である。資料へ記載する際に、昨年度は委託料全額を記載していたが、今年度は委託料の中でも庁舎管理に係るもののみを記載したため比較して減額となった。

問 令和2年度より国土強靱化計画に基づき事業を実施しているが、当初予算に事業費を計上していない。進捗状況と今後の取組は。

田中

答 令和2年度内に計画を策定し、以降計画に基づき各事業を実施し、進捗管理も行っていく。計画策定の段階で現在既に進行している事業についても計画に位置付けていくものもある。令和3年度の当初に計上されているものもある。既存の事業は既に計上され事業は進んでいる。

◎産業建設部所管

問 工場等設置奨励金の交付は妥当か。

村井

答 試験研究施設増設に伴い、令和2年度から東レ愛媛工場の固定資産税額が増額となるため、町の利益になっている。

問 鳥ノ木北団地の住民の同意がないのに南黒田工業団地整備調査委託料を計上している。なぜ先に企業誘致を進めるのか。

加藤

答 課題である洪水及び洪滞緩和対策を正確に説明している。環境対策においては

企業が決まらなければ業務内容の説明ができない。

企業アンケート調査の実施に当たっては、鳥ノ木北団地の住民に丁寧の説明を行う。

問 伊予市が協力してくるかどうかの見込みは。

村井

答 伊予市の都市整備課と連携し協議を行っている。職員間でも連携し、事業を進めたい。

意見

地権者の大多数が賛成でも少数が反対すれば実施できなくなる。ある程度全員に確約を取るなど、後で問題にならないよう手続きをしてほしい。

伊賀上



南黒田工業団地の早期実現に向けて

問 町道西75号線設計業務は、宗意箱住宅の建替のための進入道路を計画しているという認識で良いのか。

伊賀上

答 建替えをするにしても今の状況では重機等が入らない。道路がなければ有効利用が図れない。予備設計の中で必要な幅員を計画していきたい。

問 筒井地区雨水対策事業に伴う、雨水貯留施設基本設計業務の事業内容は。

伊賀上

答 基本設計を専門業者に委託し、貯留量を検討したうえで、面積、大きさの設計をしていきたい。

問 住環境改善事業予算の設定根拠は。

藤岡

答 除却工事は前年度見込みで予算計上している。

◎教育委員会所管

問 中学校の指導用図書購入の理由並びにデジタル化に向けた取組は。

村井

答 教科書採択があり令和3年度から教科書が変わるため、購入が必要になる。

学校での授業は、現時点では紙の教科書を使用しており、デジタル化は、まだ先になる。

村井

問 環境教育推進事業の内容は。

村井

答 愛媛県教育委員会の指定を受け、令和3年度と4年度に北伊予小学校で事業を実施する。毎年様々な事業の研究指定依頼があり、各学校の指定状況等を考慮して実施校を決定した。

問 ホッケー場観客スタンド設置の概要は。

伊賀上

答 約100名収容できるアルミ製ベンチの設置を考えている。

問 熱中症防止のための屋根は設置しないのか。

田中

答 まずは観客スタンドを設置することにした。屋根の設置は今後の検討課題としている。

意見

屋根を設置する際には、「おしやれ予算」を活用するなどして、すばらしいものを造ってほしい。

村井



観客が応援に集中できる環境を！

問 令和2年度の成人式が延期になったが、開催の計画は。

伊賀上

答 実行委員会の意見によれば、晴れ着を着たいという要望が多いため、時期的には秋以降を考えている。

問 令和3年度から文化センター等3つの公共施設の管理を同一の指定管理者が行うが、指定管理委託費の削減額は。

田中

答 約1750万円の経費削減を行った。なお、5年間で約9千万円の削減を図りたい。

◎保健福祉部所管

問 自立支援給付費が増額になった理由は。

藤岡

答 例年、年度途中で状況をみながら予算を補正していた。

しかし、扶助費も年々増加傾向であるため、令和2年度の扶助費の上昇率等を勘案し当初予算に計上した。

問 空家等活用事業の移管理由は。

田中

答 愛媛県の移住交流促進事業と併せて一つの課で実施するほうが事務の効率化を図れるということなどで総務課に事務移管をする。

問 健康づくりプロジェクト事業に、県から補助金の交付は。

田中

答 令和2年度は新ふるさとづくり総合支援事業費補助金を使って事業を行った。

しかし、2年目はこの補助金が出ないため、全額一般財源で行う。

「義農大賞」他で修正案提出

委員から、義農大賞に係る事業費75万8千円に関する部分を削減し、浄化槽設置整備事業費に2050万8千円を増額する修正案が提出された。

修正案に対する採決を行った結果、賛成少数で修正案を否決。

令和2年度補正予算

◎総務部所管

問 財政調整基金は実質収支額の2分の1を毎年積み立てている。令和2年度末見込額の5億7千

万円は適正と考えているのか。

田中

答 一般的に財政調整基金の残高は、標準財政規模の10%程度が適正といわれている。本町の令和2年度の標準財政規模からは7億円が適正であり、残高は少ないと考えている。

◎産業建設部所管

問 江川遊水池整備は県が管理しているが、今回どのような整備工事を行うのか。

村井

答 江川遊水池のヘドロ除去は県が行った。その後の維持管理を容易にするため、町が水路整備を行う。



問 江川遊水池において以前、近隣住民から要望があっても、県の管理ということで受けてもらえなかったが今後の町の対応は。

村井

答 様々な要望があると思うが、町としてできる範囲で応えたい。

問 ひよこたん池公園しがら改修工事入札は2回不調であったが、今後の入札予定は。

田中

答 2回入札不調となったことから、今後の対応は財政課と協議したい。工事は渇水期を考えており、なるべく早く業者を決定したい。

問 入札金額と予算額に大きな開きがある。設計金額の増額が必要ではないか。

村井

答 入札内容を業者から聞き取りし、状況を確認したい。

問 筒井地区雨水対策事業と公営住宅等長寿命化計画策定事業を翌年に繰り越している。対応する職員が不足しているのでは。

田中

答 筒井地区雨水対策事業は、ボックスカルバート設置前に上水道管の移設が必要であった。また、公営住宅等長

寿命化計画策定は、住民アンケートの実施に時間を要したため、職員が不足しているわけではない。

◎教育委員会所管

問 学校管理費の光熱水費の増額理由は。

田中

答 令和2年度は年間を通して空調設備を使用し、コロナ禍で換気を行いながら冷暖房を行った。

また、夏季休業中に2週間授業を行ったことにより電気使用量が増加した。

問 松前中学校解体工事の繰越明許費において、予算額と繰越金額に差があるが。

村井

答 前払金を支払っているため、その額を差し引いた金額を繰越金額としている。

総務 産業建設



村井委員長

入札及び契約の 適正な管理執行に向け 出納局を新設！

員を置くことにより、会計課と併せて俯瞰的な立場で指揮する形をとるため出納局及び局長を置くことにした。

問 入札の課題とは。

答 設計金額の漏えいについての対応など、入札について課題はある。

入札方法について、今後もベストな方策を研究していきたい。

問 適正な執行とは。

答 機密情報の保護、審査機関が契約に関する事務を行うことで、適正な契約が行える等が入札及び契約業務の適正な執行管理である。

問 現在考えられる課題として「談合防止」、「ダンピング対策」、「業者の育成」、「事務の効率化」の4項目上げている。地元雇用

率の確保拡大も入れるべきではないか。稲田

答 何人雇用されているかわからないが、現在、指名競争、一般競争において町内業者が

できる業種は町内を優先し選定している。今後進めていきたいと考える。

問 この4項目の課題は現在の組織として考えられることか、組織改革に関係なく入札に関する課題なのか。

答 現在取り組むものをピックアップしたものである。

問 今の組織として考えられる課題を、組織改革をすればより早く解決できるということか。

答 組織の人数によっても変わり、やってみなければわからない。

意見

課題として、業者の育成もすっかり取り組んでほしい。
例えばランク付けを点数制にして、あと何点取れば上のランクに上がれると可視化すれば業者の励みにもなる。幅広く検討することも必要ではないか。

曾我部

問 資料の中に5W1Hがない。例えば入札参加業者の格付けに関することについて、いつまでに、どのようにするの。

答 現段階では設定までできていないが、新しい組織体制でいつまでに、ということを考えている。

今までに条例や設計担当者の倫理規程を制定した。今後は組織強化も必要ということで組織改革を進めていく。

意見

出納局の設置後、入札及び契約業務の適正な管理執行の目標と課題について、難しいけれど訂正をし、新しい課題は追加するなど、詳細を報告してほしい。

加藤

◎2日間に渡る審査の末、委員会として原案可決



契約・会計を一元化「出納局新設」

その他の質疑では…

問 新たに制定される松前町新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給基金条例中の、繰替運用及び処分とは具体的にどの

のようなことをするのか。

答 繰替運用とは、基金に積立する際、現金はその時、一番有利な方法を選択して預入れをしている。この基金を、支出見込みを含めて、期間、利率等を検討しながら歳計現金（歳入・歳出に係る現金）に繰り替えて運用する。

また、処分とは、令和3年度以降に利子補給金を支出する際、基金を一部取崩して支出すること。

問 自動運行補助施設は令和13年3月31日までの間は道路占用料が免除され、町長が定めるものとして告示する、となっている。

業者は告示をすればわかるが、免除期間を条文に入れておかなければ職員が間違えて徴収してしまう可能性はないのか。

曾我部

答 職員間で引継ぎを徹底し、事務に支障のないよう取り扱う。

連携中核都市圏の メリットを最大限に活かすには

問 令和元年度分で本町が支出した金額及び各事業を本町単独で行った場合の経費は。

曾我部

答 支出額は5385万円で、町単独の場合は8634万円かかる。

問 外環状線への接続や、大型道路網整備は松前町単独ではできない。

答 6市町で協力することが連携中核都市圏の本来の姿であると思うが、基幹道路網整備の協議予定は。

稲田

答 道路担当部門が各市町集まり、それぞれの課題を出し合い検討する。そこで本町の課題を出すようになる。

問 目的が同じものは統合するとある。スリム化するのには良いことだが、消防指令台やゴミも松山市へという話もあり、将来的には他の行政事務も統合するつもりなのか。一線は引けているのか。

加藤

答 今後、担当の部署で統合か、単独か、メリット、デメリットを検討することになる。統合となっても受け入れ側の都合もあり、ある程度のある線で線を引きのは困難である。

意見

お金がベースになれば本町の存在意義、良さはどこに行ってしまうのか。経常収支比率も下げ、町として独自にやっていける体制を作らなければ、すべて渡してしまうという形になってしまいうのではないか。

加藤

問 各担当者レベルの会では、6市町は対等な立場なのか。また、取組の表記に「松山市と本町が連携して実施し、必要に応じて協議により決定する」とあるが、必要があれば協議しないのか。

曾我部

答 人数は、事務局である松山市が多いが、立場は6市町対等である。また、協議は各項目すべて行う。

決定したものは連携して実施し、今後改善が必要なものがあれば、さらに協議を行い決定する。

問 南黒田工業団地について、松山市や伊予市に協力を要請することはできるのでは。

曾我部

答 各担当者レベルの会で、本町の意向を伝えることは可能である。

圏域全体にとってメリットがあることに關してお互いが協力するものである。単独より連携して実施したほうが、効果が大きいものややっていく取組である。

問 この連携に入らなくても松山市内の病院、保育所に受け入れてもらえないことはない。連携を止めても本町が困ることはないと思うが、連携することによるメリットはあるのか。

村井

答 お金のメリットは当然ある。連携することにより6市町間の職員の連携が取れ、各市町が個別対応することがなくなる。

単独で実施するより大幅な負担減、職員の労力減のメリットがある。また、救急医療は町内に救急病院がないため連携しなくても費用を支払い、担ってもらう必要がある。

連携に位置付けることにより交付金がもらえ、財源的に有利になる。前向きに連携できるものを実施し、経費の削減をしていきたい。

意見

本町の意向を伝え、道路ネットワーク等、町のため、近隣市町のため、要望を発信し協議をしてほしい。

曾我部

意見

産後ケア事業は松前町民が松山市でも受けることができる。若い世代に本町に住んでもらうためには保育事業の充実が必要だ。お互いがウインウインの関係になるよう積極的に連携をし、協力してほしい。

渡部

◎審査の末、委員会として否決

文教厚生

介護事業 サービスの 向上に向けて



田中委員長

問 国の指針で改正されるが、町内の事業所で見直し内容について、問題事例はなかったのか。

藤岡

答 利用者の自宅訪問時にセクシャルハラスメントを受ける事例あり。

問 令和5年度末まで経過措置はあるが、それまでに対応できない場合に罰則はあるのか。

藤岡

答 罰則規定はない。

問 外部評価は毎年実施するの。指導の権限はあるのか。

岡井

答 基本は毎年実施。評価によっては期間の変更は可能。指導の権限は町にあるため、不適切であれば保険課が指導する。

問 人員配置について、運用規定はあるのか。

岡井

答 施設の種類や利用定員によって管理者や介護職員の配置は国の基準で定められている。

問 各施設の人員や設備等は把握しているのか。

岡井

答 地域密着型サービスに關しては町に指定権限があるため確認している。

一般質問

6議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

曾我部 秀司 議員 (13ページ)

- ◆入札における高落札への考えは
- ◆財政調整基金の達成目標年度は
- ◆第5次松前町総合計画の進捗状況は



住田 英次 議員 (13ページ)

- ◆浸水対策として宅地かさ上げ
一部助成の考えは
- ◆地区計画の進捗状況は
- ◆町道西74号線の土川歩道整備の今後は



藤岡 緑 議員 (14ページ)

- ◆コロナワクチン接種スケジュールと課題は
- ◆コロナ禍で働く女性への影響と支援は
- ◆地方防災会議の女性委員の増員は



稲田 輝宏 議員 (14ページ)

- ◆狭あい道路の解消に向けての対策は
- ◆横田駅トイレ設置の協議の進み具合は



影岡 俊範 議員 (15ページ)

- ◆図書館のサービス向上として
書籍消毒機の導入の考えは
- ◆予算編成に係る枠配分方式への
取組は



西村 元一 議員 (15ページ)

- ◆入札停止処分中の就労は可能か
- ◆福祉用具貸与について
- ◆介護給付適正化について
- ◆松前地区国土調査の進捗と計画は
- ◆第3次政策実施案および支援金の予定は



一部事務組合予算

伊予市松前町共立衛生組合 塩美園

総額 1億9267万円

- 分担金及び負担金 1億8263万円
(内松前町分 9705万円)
- 修理箇所の減少などにより、
予算総額で1132万円の減少

伊予地区ごみ処理施設管理組合 伊予地区清掃センター

総額 4億4297万円

- 分担金及び負担金 3億6787万円
(内松前町分 1億6482万円)
- 定期整備工事の減少などにより、
予算総額で2億7503万円の減少

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合 和楽園

総額 2億8605万円

- 分担金及び負担金 1億5196万円
(内松前町分 7627万円)
- 出身地別措置者数(令和3年4月1日現在)
松前町 … 17人 伊予市 … 14人
砥部町 … 3人 組合外 … 10人

伊予消防等事務組合 各消防署及び聖浄苑

総額 16億5539万円

- 分担金及び負担金 16億1760万円
(内松前町分 4億4797万円)
- 令和3年度伊予消防等事務組合重点施策
伊予地区広域斎場「聖浄苑」改築事業

※1万円未満は切り捨てて表示しています



曾我部 秀司 議員

問 9月に指摘した高落札に関する問題を各課に伝えたか。

答 担当課に伝えた。本町の平均落札率は愛媛県と比較して、低い水準となっている。

問 入札の在り方の再検討は。

答 今後も国の動向を注視し、町内業者の意見を伺いながら、よりよい入札制度になるよう絶えず見直していきたい。

問 本町では、落札率を抑えるという考えは。

答 落札率は、町が任意に抑えることができるものではないため、落札率を抑えるという考えはない。

R1. 8. 7	落札率	99.95%
予定価格	6,240,000	
最低制限価格	5,521,075	
G	7,194,600	失格
D	7,059,700	失格
C	6,748,200	失格
B	6,645,000	失格
E	6,427,500	失格
F	6,237,000	落札

これでもよいと？

問 ある自治体では、高落札率入札調査に

関する要綱があるが、本町でも同様の要綱を策定・施行する考えはないか。

答 本町では、予定価格を事前公表していないため、制定する考えはない。

問 町内業者の育成とよく言われているが、その意味するところと実際に町が行っていることは。

答 本町が考える町内業者の育成とは、業者の技術力及び経営状況を向上させることである。

本町では、業者選考において町内業者の指名を優先していることから、町内業者は工事を受注・施工する機会が増え、技術力及び経

営状況を向上することとなる。

問 財政調整基金残高10億円を目標にしているが、達成目標年度は。

答 10年後の令和12年度には目標を達成したいと考えている。

問 「財政基盤安定化に向けた取組」には歳入・歳出の具体的な取組を挙げているが、それぞれどれくらいの増減を目標にしているのか。

答 財政調整基金残高を10億円にすることを目標としているもので、個々の取組における目標額は設定していない。一つひとつの取組を着実に実施し、目標を達成したいと考える。

意見

取組個々の具体的な目標数値は設定すべきだ。目標がないと振り返ることができないし、次年度の取組も明確にならない。

水害に強い安心安全なまちづくりを

問 浸水対策として宅地のかさ上げへの一部助成の考えは。

答 宅地や建物のかさ上げ等の一部を補助する事業は、内水氾濫に対して水害軽減効果が見込まれる。また、内水氾濫の浸水対策の完了までには期間を要することから、事業を実施している他の自治体を参考にして、対象エリアの設定などの研究を行い、事業実現に向けた準備に取り組みたい。

地区計画の進捗状況は

問 北黒田臨海部の土地の有効利用は。

答 『第5次松前町総合計画』では、南黒田工業団地の整備を進めるほか、北黒田の臨海部についても土地の有効利用を検討すること



住田 英次 議員

としているが、どちらの土地も市街地調整区域で農業振興地域であるため、農業以外の土地利用は厳しく制限されている。

北黒田臨海部は農業区分が甲種農地であり、限られた利用目的しか農地転用が認められていないため、企業誘致は困難な状況は変わっていない。

また、この地域は津波浸水被害想定区域内であるため、土地利用において必要な基盤整備として、一部未整備の海岸堤防の整備が必要と考えている。

町として当面は、地勢的に南黒田工業団地の開発を推進していく。来年度から農村地域への産業の導入の促進等に関する法律に基づく実施計画の策定に向け、県内企業を対象に、町内への自社工場の立地や移転の意向をアンケートやヒアリングによる調査を行う。引き続き国や県などの関係機関と協議していきたい。

土川の歩道整備は

問 松前小学校の通学路の安全対策として、土川に歩道を整

備しているが、伊予鉄道郡中線の踏切部分の歩道の拡幅の考えは。

答 さらに東側の土川への、越水対策を含めた歩道整備の延長の考えは。

また、土川の越水対策は老朽化した土川排水ポンプを更新して機能回復を図ったほか、歩道整備にあわせて水路断面を拡げている。土川踏切から東も歩道整備を行う場合には水路断面を拡げて、越水対策をしていきたい。



早期の歩道の拡幅を!!



藤岡 緑 議員

問 コロナワクチン接種はどのようになるか。

答 個別と集団の両接種法で始める。

問 移動の難しい高齢者などへの接種は。

答 施設に入所されている方には、そこで接種できるように調整している。

問 町外かかりつけ医からの接種はできないのか。

答 長期入院や基礎疾患を持つ方が、主治医の下で接種する場合など、やむを得ない事情により例外的な接種はできる。

答 無制限に認めると各自治体における接種対象者の人数の算定ができない。

意見 国からの情報不足で、不明な点が多い。分かり次第周知を。

問 コロナ禍で働く女性への支援は。

答 ひとり親世帯に対する支援として、国の補助金を活用して、県が児童扶養手当を受給している世帯を対象に臨時特別給付金を昨年8月に支給。基本給付が一世帯5万円、第2子以降一人につき3万円、更に再支給を年末にも行っている。

問 町としての支援は。

答 県から生活困窮者自立相談支援事業の委託を受け、松前町社会福祉協議会が「くらしの相談支援室」を設置している。相談件数は213件でうち女性は88件。

問 生活支援のための貸し付けや家賃援助の具体的な相談には、どう対応するのか。

答 松前町社会福祉協議会を相談窓口とし愛媛県社会福祉協議会の2種類の貸し付け（緊急小口資金と総合支援資金）を受けることができる。

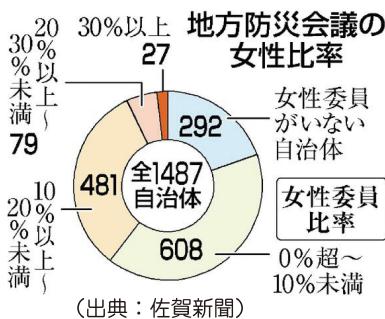
問 地方防災会議の女性委員の割合が非常に少ないが、町の見解は。

答 避難所運営や要配慮者への対応など女性の視点が必要と認識している。

問 どのように女性委員を増やしていくのか、今後の方策は。

答 現在本町の防災会議の女性委員は一人だが、条例上、国、県、町、消防、警察などの行政機関から選任するので難しい。

ただ実際の委員構成から見ると、定数の半分が町職員なので、委員数の見直しを含めた女性の登用が図れる関係条例の改正を行いたい。



稲田 輝宏 議員

問 町内には緊急車両の通れない幅員4m未満の狭あい道路が多く、防災の面からも狭あい道路の拡張が重要だ。解消に向けての対策は。

答 狭あい道路は災害時避難路、安全で良好な環境を形成するうえで問題があり、道路の拡張を促進することは重要だが現実的には困難な状況だ。

狭あい道路に接する建築物を築造する場合は道路の中心線から2mを境界線とし、後退する規定がある。建築後退部分は、土地所有者から寄付のあった場合、町の費用で土地分筆・所有権移転登記事務を行い、その部分の道路舗装を実施することで、狭あい道路の拡張を推進している。

問 狭あい道路の拡幅に向けて、町として一歩でも半歩でも前進していく方向で導いてほしいが、制度のPRはなされているのか。

答 現在まで広報等では周知していない。今後、機会があれば周知していくよう検討したい。

意見 事前防災の点からも狭あい道路の解消は急務である。何もしなければ何も変わらない。積極的にPRし、制度利用の呼び掛けを。

問 町内鉄道6駅で、トイレがないのはJR伊予横田駅だけである。住民に対する福祉は公平でなければならぬ。トイレ設置にかかる伊予市との協議はどこまで進んでいるのか。

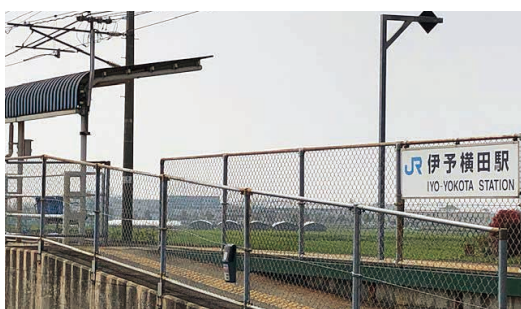
答 両市町で協議の結果、伊予市担当課からは、利用者及び周辺地域からトイレ設置要

望がない上に、設備の維持管理及び市の財政状況からトイレ設置の考えはないとの意見があった。

町としてもトイレ設置の要望を受けたことはない。通勤・通学者が大半で、駅での滞在時間が短いことから、トイレ設置の必要性は低い。設置には多大な費用がかかるので、設置の考えはない。

問 地元の要望があれば検討するのか。

答 要望があれば本町での必要性を考え伊予市と協議する。



知的財産の宝庫 図書館のサービス向上について



影岡 俊範 議員

問 無類の愛書家として知られた故児玉清さんは「読書の楽しさを子ども時代に味わうことは、何物にも代え難い生涯の財産となる」と。

読書が学力を左右することも最新の脳科学で分かっていた。東北大学の研究によると、読書時間が長いほど、小・中学生の成績は高い傾向にあり、読書が脳に発達を与える効果は大きいと言われている。図書館の本は、不特定多数の方が触れる上、本棚に置かれているだけでもほこりがつくなど、意外に汚れている。

問 図書館のサービス向上のために書籍消毒機を導入する考えはないか。

答 松前町ふるさとライブラリーでは、コロナ禍における町民の皆さんの読書機会確保に努めているところだ。

より安心して利用していたため、紫外線による書籍消毒機を令和3年度にコロナ対応臨時交付金を活用するなどして導入し、サービス向上に努める。



問 持続可能な地方行政に向けた予算編成

問 本町の枠配分方式に対する取組について導入の目的と方向性は。

答 導入の目的は、限られた財源の有効活用と職員の意識改革だ。各部局が住民二

ズを的確に捉えた上で、必要性や妥当性などから事業の優先順位を判断し、取捨選択を行うため、限られた財源を適正に配分することができるとしている。

問 配分の対象範囲は。

答 一般財源ベースである。ただし、人件費や扶助費、地方債の償還に要する費用といった義務的経費のほか、一般財源ベースで金額の大きな重要施策に係る経費については、枠配分の対象外としている。

問 各部局の力量が問われることになり、統計データの集積やその分析力とコスト意識習熟が要求されることになる。これらのレベルアップを図る職員教育カリキュラム等の想定はあるのか。

答 予算編成に関する職員研修などは、考えていない。枠配分方式の予算編成を実施する中で、職員のコスト意識や能力の向上も図れるものと考えている。

入札停止処分について

問 入札停止処分を受けた業者及び従業員は、1年半の間、役場事業に関係した仕事に携わることはできるのか。

答 要綱では、入札参加資格停止期間中の有資格業者が、町工事を下請してはならないと規定している。昨年、その事実があり工事を停止し、厳重注意の対応をした。

福祉用具貸与基準について

問 福祉課に電動車椅子の申請をしたところ、介護保険優先と言われた。車椅子の給付がなされなかった原因は何か。



西村 元一 議員

答 地域包括支援センターで電動車椅子の自費でのレンタルを勧めたとすれば、介護認定されていないためと推測される。介護給付の適正化を図るため、福祉用具の必要性や利用状況等を点検により不適切または不要な福祉用具の購入・貸与を排除し、受給者の身体の状態に応じて必要な福祉用具の利用を進めている。

介護給付適正化について

問 有資格者が何人いるのか。

答 ケアマネジャーの資格職員が2名いる。

問 本人の実態調査などを行っているのか。

答 必要に応じて実施している。

国の通知にない事前確認等を行っていることは、事後の訪問調査等で給付の適正化について確認することが十分可能であることから、その必要性や今後継続するかどうかについて再検討する。

問 松前町独自の適正化事業のマニュアルを作るのか。

答 独自のマニュアルの作成はしない。

国士調査について

問 松前地区の国士調査は。

答 松前地区の国士調査は平成19年度に筒井地区、浜（宗意原）地区の調査から開始し、これまでに平成30年度南黒田地区、令和2年度筒井地区・北黒田地区・浜（宗意原）地区の調査と登記手続きがそれぞれ完了した。浜（新立）地区は、令和元年度から調査を開始し、令和7年度までに調査と登記手続きが完了する予定。浜（本村）地区は、令和7年度から調査を開始し、令和13年度までに調査と登記手続きが完了する予定。

傍聴席

本会議を傍聴して

松前のM.J

今回初めて本会議を傍聴させて頂きました。

本会議では厳粛な雰囲気の中、市政における課題や問題点、地域・住民のための政策・制度の更なる拡充に向けた取り組み等について、議員・町長・松前町幹部の皆様が真摯に議論を行っている様子が印象的でした。

また、当日配布して頂

いた「一般質問一覧表」

には質問者ごとに件名・要旨・要旨説明が記載されておりましたので傍聴の際、資料があることで

理解が深められ、これまでも気にかけていなかったことも関心を持って傍聴させていただきました。

議会終了後に「議会だより」が発行され、議会の様子は報告されますが、傍聴することで様々なことが身近に感じられるようになり、これまで以上に市政のことが気になるよう

になりました。

この松前町で快適な生活

をしたい、松前町を魅力ある町にしたい、より良い町にしたいという気持ちは松前町民みんな同じだと思います。そのため

には議員・行政だけでなく、私たち一人一人が市政に関心を持ち、市政に私たちの声を届けることが大切だと改めて感じました。

これからも安心・安全のもと、笑顔で快適に暮らせる町づくりに期待しています。

『松前町議会会議規則』 一部改正について

議員活動と家庭生活との両立支援をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たり諸要因に配慮する。

そこで、育児、介護など議会への欠席理由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定した。

内は改正後
(欠席の届出)

第2条 議員は、事故のため出席できないときは、…

公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由

2 議員が出産及び疾病(削除)のため出席できないときは、日数を定めて、…

出産予定日の6週間(多胎妊娠の場合にあっては、14週間)前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして、

「待望の観客席の設置が予定されている
国体記念サッカー場」

松前ライオンズクラブ
共催のもと、2年ぶりの
中学生サッカー交流大会
「まさきカップ」が開催
された。



熱戦が繰り広げられた「まさきカップ」 2021.3.20

「町民の声」を
お寄せ下さい

次号議会だよりの
掲載の締切りは5月末
です。

400字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)を書きください。
(投票多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛 先】

〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係

◆Fax 985-4148◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

第2回定例会
開催予定日は
6月8日(火)

傍聴席も安全第一で対処
しています。
PCによるライブ、録画
傍聴もできます。



この広報誌は、資源
保護と環境に配慮して
大豆油インキ、再生
紙で作成しています。

議会広報常任委員会
委員長 藤岡 緑
副委員長 曾我部 秀司
委員 住田 英次
委員 田中 周作
委員 影岡 俊範
委員 渡部 惠美
委員 西村 元一

なかなか収束の兆しが見えないコロナ禍。たくさん
のイベントや行事が中止や
延期を余儀なくされている。
しかしながら、本当にその
行事が必要であったか、な
かったかが見えてきたよ
うな気がする。おざなりに
継続してきただけのイベン
トや行事もあったのではな
いだろうか。本当に必要な
ものは必然的に残っていく
と思う。ウィズコロナの時
代、これをきっかけに見直
しが必要なのでは？
普段なら気付かなかった
ことに気付けた一年であっ
た。

(住田 英次)

編集後記